

教員情報

浅野 倫子 (ASANO Rinko)	
所属	看護栄養学部 看護学科
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	看護学修士 がん看護学専攻
学位取得大学	武蔵野大学大学院
主な担当科目	在宅看護論 地域・在宅看護概論
専門分野	エンドオブライフケア
主な研究テーマ	がん看護 在宅看護 意思決定支援 家族ケア
学会・社会活動	日本がん看護学会・日本家族看護学会・日本統合医療学会 NPO法人ニューマン理論・研究・実践研究会の正会員
主な業績 (教育・研究等)	1. 著書 1) 浅野倫子, 三次真理: 第4回 Newman 理論に導かれ、患者・家族との対話を核にしたケアリングパートナーシップのケアを日常の看護実践に織り込む過程ー1つの実践事例紹介ー. <i>がん看護</i> , 24(3), 南江堂, 303-307, 2019. 2. 論文 1) 浅野倫子, 遠藤恵美子: 最期の療養生活のあり様に揺れるがん患者とその家族と訪問看護師との対話を通じた看護ケアの研究ーニューマンの健康の理論に基づいたケアの試みー, <i>武蔵野大学紀要</i> , 2012. 2) 古里倫子, 遠藤恵美子, 高木真理, 宮原知子: 第7回ターミナル期のAさんとその両親と私の寄り添い ニューマン理論に導かれた寄り添いから生まれた‘つながり’のケアとそれが意味すること, <i>マーガレット・ニューマンの理論に基づく看護実践ー看護師の見方が変わり、ケアの違いを生み出すー</i> , <i>看護実践の科学</i> 38(8) 43-53, 2013. 3) 浅野倫子, 濱田寿美, 小楠範子: コロナ禍における看護学生の訪問看護学内実習での学びと今後の課題, <i>鹿児島純心大学栄養学部紀要</i> 27 p64-71 2023. 3. 学会発表 1) Rinko Furusato, Emiko Endo: Pattern Recognition Through Dialogue in Family -Nurse Partnership Care within Margaret Newman’s Theory and Differences Made in Both Family And Nurse, 11 th International Family Nursing Conference, 2013. 2) 遠藤恵美子, 浅野倫子他: 全体論のパラダイムに準拠する「疾患/非疾患を合一化した健康とケアリングパートナーシップ」に関する理論と実践事例紹介-ターミナル期にある娘と老父母とのケアリングパートナーシップ-, 第22回日本統合医療学会大会, 2017. 3) 浅野倫子, 遠藤恵美子: パターンを掴むために必要な看護師の感性, <i>ニューマン理論・研究・実践研究会</i> , 2020. 4) 浅野倫子: 家族間の苦悩に家族員同士で家族のあり方を見出す看護ケアの研究-Newman 理論に基づいたケアの試み-, <i>日本家族看護学会第28回学術集会</i> , 2021. 5) 浅野倫子: 手術が必要である性同一性障害と M. Newman 理論に導かれた対話による看護ケアの研究, 第25回日本統合医療学会学術大会, 2021.